

第8回理事会の開催



▲ 理事会の様子

平成14年11月11日、東京千代田区の手町サンケイプラザにおいて、第8回理事会を開催しました。本理事会では、平成14年度の活動状況の報告が行われた他、平成15年度の事業計画の骨子などについての審議、及び役員の変更を行い、退任役員と新任役員は以下の通りとなりました。

退任役員

(敬称略)

	氏名	所属	役職名
理事	榎本 聡明	東京電力株式会社	元取締役副社長
理事	根岸 學	日本原燃株式会社	顧問

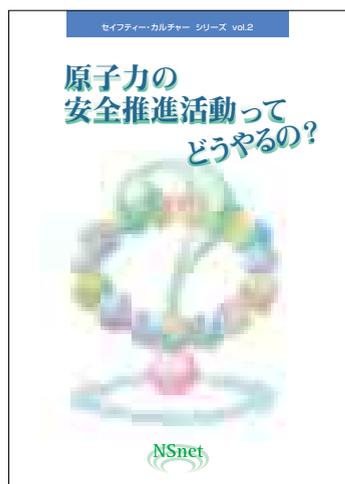
新任役員

(敬称略)

	氏名	所属	役職名
理事	白土 良一	東京電力株式会社	取締役副社長
理事	磯部 靖一郎	日本原燃株式会社	常務取締役

“セーフティ・カルチャー シリーズ” 小冊子Vol.2の発行

今回は、前回の「原子力の安全文化」に引き続き「原子力の安全推進活動」をテーマに取り上げ、これまでのセミナー・キャラバン講演会の内容から、「原子力の安全推進活動」に関して講演者の生の声やエッセンスを抽出し、“セーフティ・カルチャー シリーズ”小冊子Vol.2「原子力の安全推進活動ってどうやるの?」を作成しました。



この“セーフティ・カルチャー シリーズ”小冊子は安全に関する基本的な知識や安全意識の再確認などを通じてNSネット会員の安全活動の一助として活用できるように、できるだけ分かり易くまとめております。

この“セーフティ・カルチャー シリーズ”小冊子は今後も引き続き、セミナー・講演会のテーマ毎に発行していく予定で、今年度中にVol.3を発行すべく準備を開始しました。

平成14年度NSネットセミナーの開催

平成14年9月26日、東京都千代田区の手町サンケイプラザ4Fホールにおいて、「危機管理とコミュニケーション」と題して平成14年度のNSネットセミナーを開催し、会員、関連企業、関連団体及び一般から約270名の参加がありました。

今回のセミナーでは、有識者、ジャーナリストの方々をお招きし、原子力産業界の安全文化の共有・向上、信頼回復に向けたこれまでのNSネットの取り組みや21世紀の原子力を安全で信頼あるものとするための取り組みについて議論頂き、その提言を実践の場で生かして行くことを目的に開催しました。

NSネット牧野理事長の挨拶の後、元内閣安全保障室長 佐々 淳行氏から「混迷する時代の危機管理」と題して、ご講演頂きました。講演では、「リスク管理(Risk Management)と危機管理(Crisis Management)の相異」「ABCDEFの危機」「国家の危機管理体制」などのお話がありました。

引き続き、「危機管理とコミュニケーション ～ 原子力政策の新次元～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

ディスカッションには、コーディネーターとしてジャーナリスト 嶋 信彦氏のほか、ご講演いただいた佐々 淳行氏、並びに学習院大学名誉教授 田中 靖政氏、千葉商科大学助教授 宮崎 緑氏、関西電力(株)取締役 松村 洋氏がパネリストとして参加しました。

東京電力問題、「9.11」以降の原子力問題、国および原子力業界の危機管理などについて活発な議論が行われました。



▲元内閣安全保障室長 佐々 淳行氏



▲パネルディスカッションの様子
(左から嶋氏、佐々氏、田中氏、宮崎氏、松村氏)



▲ 嶋氏



▲ 田中氏



▲ 宮崎氏



▲ 松村氏

パネルディスカッションにおける主なご意見は、

- 初心に帰って、信頼回復に努めないと原子力産業そのものの危機になってしまう。原子力発電所は、不安だけども必要性については国民も認識していると思うが、情報の公開や安心の仕組みを作る必要がある。(嶋氏)
 - 技術系の社員は、一般社会に対しわかりやすい説明を心掛けるべきであり、東電問題で、原子力発電所周辺の全ての住民が不安を抱いた。不安を買って安心を売る努力が必要である。(佐々氏)
 - 体制側の変化に対応する柔軟性、原子力産業を崩壊させないための戦略や人材の育成をどのように進めていくかの検討が必要である。(田中氏)
 - デジタルネット時代のメディアの使い方の検討や情報の入手手段が変化している若い世代にターゲットを絞った広報も必要である。(宮崎氏)
 - 国は将来のエネルギー政策のビジョンを示し、国民に問いかけていただきたい。(松村氏)
- などがありました。

相互評価（ピアレビュー）の実施状況について

今回は第25回の三菱電機（株）電力・産業システム事業所で行われたピアレビューの状況を紹介します。

ピアレビューの概要および報告書の全文をNSネットのホームページ (<http://www.nsnet.gr.jp/>) に掲載していますのでご覧ください。

平成14年10月2日から4日にかけて行われた第25回のピアレビューは、電源開発（株）、東京電力（株）、三菱マテリアル（株）の専門家及びNSネット事務局（計4名）が評価チームに参加し、組織・運営、教育・訓練、設計・製造、重要課題対応の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。さらに、今般の東京電力（株）での原子力発電所における自主点検データ不正取扱問題を受けて、倫理関係、コミュニケーション、データの取扱い等にも重点をおいてレビューしました。

評価の結果、電力・産業システム事業所においては、三菱グループとしての原子力品質保証重点施策に対して原子力安全を確保することの重要性を認識し、各職場において目標を設定するなど緻密な品質保証活動が行われていることが確認されました。

また、NSネットの会員外から、生活情報評論家の井上チイ子氏にオブザーバー参加いただき、「バランスよく様々な視点からレビューができるように、視点の異なるレビュー者（例えば、女性を参加させるとか）も必要ではないかと思う。また、三菱電機（株）に対しては品質管理に力を入れているのが良く分かった。」との講評をいただきました。



▲ 報告書の提出
牧野理事長（写真右）より三菱電機（株）野間口社長（写真左）へ

〈主な良好事例〉

- 携帯カードの有効活用による目標の浸透と自覚の促進
- 開かれた職場環境の推進
- 多面的な設計審査のための「BEST30」評価システムの導入
- 「MAPLE手法」による現地工事でのヒューマンエラー防止活動

〈改善提案〉

- 所内報における企業倫理の理解度クイズ回答欄の更なる工夫
- メリハリの利いた現場掲示
- 安全改善活動の成果の協力会社との一層の共有化

パネル展示状況（最終回）

今回は、以下の事業所のパネル展示状況を紹介します。より多くの方々にNSネットの活動を知っていただくようパンフレットも配置しています。展示状況の紹介は今回で最終回となり、紹介できなかった事業所もたくさんありますが、会員施設のご見学等の際にはぜひご覧いただきたいと思います。



▲ 東京電力（株） TEPCO SONIC
（埼玉県さいたま市）



▲ 四国電力（株） 伊方ビクターズハウス
（愛媛県伊方町）

安全キャラバンの実績

今回は第42回と第43回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
42	10月11日	中国電力株式会社 本店	元 核燃料サイクル開発機構 大洗工学センター 安全管理部長 成田 脩 氏	環境状況の変化と安全の取組み
43	10月17日	東京電力株式会社 福島第一原子力発電所	元 日本原子力発電株式会社 最高顧問 板倉 哲郎 氏	原子力安全の心構え
			三菱原子燃料株式会社 品質保証部長 岡田 和明 氏	MNFにおける原子燃料の 品質保証活動について



▲ 成田 氏

「安全というのは、そこでとどまっていれば安全ということではなくて、環境状況を見ながら、今までよかったものでも見直していくことが必要であり、常に現状を評価してよりよい安全を確保していきましょう。」



▲ 板倉 氏

「エネルギー問題、環境問題を考えるときに原子力発電は必要なものです。世界の人類のために、自分の仕事に対する誇りと自覚をもってください。」



▲ 岡田 氏

「何か問題が発生したり、世間を騒がすような事象が発生したりしたときには、繰り返して倫理教育を行うことが重要だというふうに考えています。」

海外関係機関との連携構築について

今年9月に開催されたWNA (World Nuclear Association:世界原子力協会)の年次シンポジウムにおいて、NSネットの活動を、WNAに参画している世界の会員に紹介しました。NSネットの会員には、日本の原子燃料サイクルを構成する会員ならびにこれをサポートするメーカーや研究機関も参加し、世界でも初めてのモデルとして関心を集めました。

現在、WNAのほか、NEI (米原子力エネルギー協会)、SFEN (仏原子力協会)、NucNET (世界原子力ニュース)と提携しています。NSネットでは、上記の海外提携機関並びに会員の海外事務所から海外の原子力情報を入手するとともに、主要なトラブル情報 (INESレベル1以上) および原子力の安全に対する社会的信頼性に関わる情報を、電子メールで海外に発信しています。また、海外向けメールニュースを来年度から発行できるよう準備を進めており、グローバルな活動を展開していきます。

NSネットメールニュースを発行しています。読者登録をどうぞ!

登録は「NSネットメールニュースのコーナー」ページ (<http://www.nsnet.gr.jp/mag/index.html>)にて簡単に手続きできます。多くの方に読んでいただき、ご意見をいただきながら、親しみやすく、より良い紙面にしていきたいと考えています。



NSネット (ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.16 2002年12月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnet.gr.jp>



当紙配布率100%再生紙を使用しています